



2014年4月22日

各位

会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 西澤 庄藏
(コード番号：5726 東証第一部)
問合せ先 総務部長 脇 治豊
(TEL. 06-6413-9911)

平成26年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、2013年9月4日に公表しました平成26年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 平成26年3月期通期業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 44,500	百万円 700	百万円 △300	百万円 △2,400	円 銭 △65 22
今回修正予想 (B)	42,900	1,100	300	△2,900	△78 81
増減額 (B-A)	△1,600	400	600	△500	—
増減率 (%)	△3.6	57.1	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	55,875	4,108	3,926	2,075	56 39

2. 業績予想数値の修正理由

(1) 業績

売上高は、チタン事業の輸出向けで2014年契約(暦年)の出荷がボトムヘビーになったこと等により2014年1～3月の出荷を主体に減少する見通しですが、営業利益及び経常利益は、コスト削減の追加や円安影響等により前回予想から好転する見通しであります。

一方、当期純利益につきましては、下記「(2) 固定資産の減損損失の特別損失への計上」等により前回予想を下回る見通しであります。

(2) 固定資産の減損損失の特別損失への計上

当社チタン事業は、航空機向け需要の拡大を背景に中長期的には安定的な成長が見込まれますが、足元ではサプライチェーン内の在庫調整等の影響により大幅な生産調整を余儀なくされております。

これに伴い、スポンジチタンの主要生産設備である還元炉のうち、最も古くかつ小型の還元炉の稼動を昨年2月より全面休止し、高効率の大型還元炉に生産を集中しております。今後の当面の動向も踏まえ当該休止設備を遊休資産として減損し、5億円の減損損失を既に第2四半期に計上した事業再構築費用の特別損失に追加計上することといたしました。

なお、今後の需要回復に備え、今回減損する設備については生産能力を維持いたします。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上